

## = CAMPUS LIFE = 課外活動紹介

### 「LGBTs学生団体Poi」

岩手にいるLGBTsの若者をひとりにしたくない……そんな思いから活動が始まったPoi。座談会やブース出展など学内に留まらない様々な取組について伺いました。

私が取材をしました!

i-Connect社員  
人文社会科学部4年  
北田 工 さん



### 「アメリカンフットボール部Bisons」

個性豊かな部員たちが魅力だというアメリカンフットボール部取材しました。東北リーグ優勝を目指して練習に励むBisonsについてぜひ知ってください。

私が取材をしました!

i-Connect社員  
理工学部3年  
石橋 理絵 さん



#### Q. 岩手大学LGBTs団体Poiはどんな団体ですか？

A Poi (ポイ) は、「あたりまえ」に「?」を持つことによって、LGBTsへの偏見や差別をポイするきっかけを作りたい、岩手にいるLGBTsの若者をひとりにしたくない、このような思いから生まれた団体です。岩手大学の学生だけでなく、OB・OGや他大学の卒業生まで様々なメンバーが所属しています。現在は月一回ほどの座談会を中心に活動しています。コロナ禍はほぼオンラインの座談会のみでの活動でしたが、徐々に対面での活動もできるようになり、最近はいわてレインボーマーチ(IRM)でのブース出展や、性の多様性を考える公開講座などにも参加しています。



いわてレインボーマーチ(IRM)でのブース出展

#### Q 岩手大学LGBTs団体Poiの魅力教えてください。

A 座談会では、あるテーマについてメンバー同士で話し合ったり、同じ悩みや疑問を持ったメンバーと意見交流をしたりしています。他にも、映画鑑賞会や食事会なども行っており、気軽に来られる居場所となっています。交流の中で、自分以外の人のさまざまな考えや経験を聞くことで一人では気づけなかった新しい視点に気づくことができ、これが魅力だと思っています。

#### Q 活動をするにあたって苦労したことがあれば教えてください。

A 少し大変だったことはコロナ禍のオンラインでの活動ですね。オンラインでの座談会は対面よりも発言のしやすさなどに細かい気配りが必要だなと感じています。この一年ほど代表としてメンバーに支えられながら運営して、やっと慣れてきたらどうかという所です。慣れないオンラインでの運営でしたが、オンラインだからこそそのメリットも同時に感じてきました。今後はオンラインのメリットも活かしつつ、対面での活動も活発に行っていきたいと思っています!



IRMの準備の様子

#### Q 未来の新メンバーに一言お願いします!

A Poiは、より多くの人があるのままの自分を肯定し、前向きになれることを目指して活動しています。Poiの活動に興味がある方や参加を希望される方はPoiのツイッター(@ppoi0201)までお気軽にご連絡ください。

今回の取材を通してLGBTsについて改めて考えさせられました。岩手大学LGBTs団体Poiさんの今後の活動を応援しています!



IRMのレインボーパーレードに参加!

#### Q アメリカンフットボール部Bisonsはどんな部活ですか？

A 1年生10人、2年生9人、3年生2人、4年生5人の計26人で火・木・土・日の週4回練習しています。選手は22人でマネージャーは4人です。また、全学部の学生が所属しており、現在大学院生の方もいます。普段の活動は学生主体で行っており、部の雰囲気はとても明るいです。練習以外ではよくふざけあつたりしていて、誰でもウェルカムな部活です。

#### Q ご自身の入部のきっかけは？

A コロナ禍のオンライン授業で暇を持て余していた時に、同じ寮の友達からアメフト部の新入生歓迎会に誘われたのがきっかけです。そこで部の雰囲気がとても気に入り入部しました。部員のほとんどが未経験者というところにも惹かれました。



ヘルメットとアメフトボール

#### Q Bisonsの魅力教えてください。

A Bisonsの魅力は個性豊かな部員たちだと思います。4年間Bisonsで過ごしてみても退屈な時間がほとんどありませんでした。常にアメフトや遊びに真剣な部員たちと過ごして最高の思い出になりました。また、大学生になっても試合で負けて悔しさのあまり涙を流す、そんな熱いチームであることもBisonsの魅力だと思います。



練習風景①

#### Q 今後の目標があれば教えてください。

A 東北大学に勝ち、東北リーグ優勝することです!

#### Q 未来の新入部員にひと言お願いします。

A アメフトのいい所は自分の長所(足が速い、体重がある、頭が良いなど)や、今までのスポーツの経験を必ず活かせるスポーツだということです。全員がアメフト未経験者で、高校時代は部活に入っていなかった人もいます。Bisonsに入れば4年間、退屈することはありません。充実した熱い4年間を送りたい方、ぜひアメフト部の新入生歓迎会に来てみてください。アメフト部に興味がなくとも新歓に来れば楽しいこと間違いなしです。



練習風景②

取材で見学に行った際、エネルギーに汗を流している選手の皆さんが印象的でした。部員の全員が未経験者からのスタートなので気軽に入ることができるのも魅力の一つですね。



●取材に協力してくれた方  
代表 理工学部 物理・材料理工科  
4年 齋藤 光希さん(宮城県泉高等学校出身)



# 岩大生の地域活動を後押し！ 地域協創教育センター構想について



石沢友紀地域協創教育室長

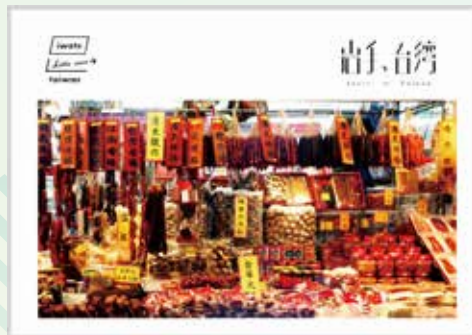
岩手大学では、地域との連携により、学生の実践活動を積極的に支援してきましたが、その活動をさらに充実・強化し、学生と地域との協働を恒常的に促進する「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」を実現させることを目的に2023年秋に「地域協創教育センター」の新設を予定しています。本学の石沢友紀学務課地域協創教育室長に、これまでの取り組みとこれからの計画についてお話を伺いました。

## 地域等との連携による多様な実践活動支援

岩手大学では、1998年に「Let'sびぎんプロジェクト」を開始するなど、以前から学生の独創的なプロジェクトへの支援を継続的に行ってきました。毎年多くの学生が、学年や学部の枠を越えてこうした取組にチャレンジしていることは、岩大生の活力の源になっていると感じています。

また、岩手大学の強みである地域との産学官連携のネットワークを活かし、2006年からは「地域課題解決プログラム」を実施しています。本学の校是である「岩手の“大地”と“ひと”と共に」のもと、学生の積極的な地域社会への参画を促すために、地域社会の抱える様々な課題を、学生のゼミ活動や卒業・修了研究のテーマとしてマッチングするプログラムです。指導教員の下、学生の斬新な視点から研究が行われることにより、地域課題の解決に向けた新たな展開がいくつも生まれています。

2009年には、工学部（現理工学部）の附属施設として、ものづくりエンジニアリングファクトリーを設置し、ものづくりの実践的教育を提供するとともに、学生が仮想企業を設立し起業体験する「学内カンパニー」の仕組みを構築しました。「学内カンパニー」では一般



岩手と台湾のあいだに人のつながりを生み出し、相互の交流を促進することを目的とした「iwate to taiwan～岩手-台湾間のイン・アウトバウンド促進プロジェクト～」の成果物。岩手大学HP「Let'sびぎんプロジェクト」のページから全頁をご覧ください



学内カンパニー「岩手大学クラフトビール部」の活動の様子。紫波町の高橋農園にて、自分たちで植えたビール用大麦の収穫を行いました

の企業のように学生が「社長」や「社員」を務め、教職員や企業の支援を受けながら事業企画から設計、部品発注、試作、製作、さらには業績把握を行い、損益確認までを行うことが大きな特徴です。学生は学部の垣根を越え、専攻以外の分野であっても自由に参加することができます。学んだ知識がどれだけ実際に役立つかを体感できるので、企業に入ったときの実践力が身につきます。

東日本大震災を契機に、これまで紹介した各種プログラムに加え、復興支援や地域創生に関わる学生の自主的な活動が多様化されてきたことに伴い、2018年には、地域活動／研究支援のプラットフォームとして「NEXT STEP 工房」を開設しました。NEXT STEP 工房では、各学生団体の活動をよりスムーズに行うための環境を整えることを目的に、学生団体同士の情報共有や連携のきっかけ作り、活動の困り事に対する相談対応、活動の場を提供してくれる地域探しのサポートや活動費の支援などを行っています。



2023年度の認定団体説明会の様子。各団体が活動の目的やこれからの計画について説明しました



説明会は学生センターA棟のエントランスホールで開催しました

## 新設する地域協創教育センターが目指すもの

このように、岩手大学には学生の地域活動を支援する制度が多様であり、これ以外にも地域企業や自治体との連携プロジェクトなどもさまざま実施されています。

一方、ポストコロナへの対応や少子高齢化の加速など、地域を取り巻く環境はより厳しく、地域社会のリノベーションを進めることは急務となっています。そして、キャリアモデルが不明確な時代を生き抜くために、成長意欲が高く、在学時から社会活動経験を希望する学生が増えるなど、若者の生き方や働き方の価値観にも変化が現れています。

こうした背景を踏まえ、これまでの取組を時代に合わせて集約・最適化し、地域関係者も交えた体系化を進め、地域協創活動による教育的効果をより高めていくため、この秋、新たに「地域協創教育センター」を立ち上げることにしています。

地域協創教育センターでは、教育面における岩手大学と地域との連携に関するハブ機能を強化し、全学の学生が参加可能な共修プログラム「イーハトーヴ協創コース」の開設をはじめ、地域と学生との恒常的な協働・対話の場の設置、学生のキャリア形成サポートなどの取組を行うこととしています。

イーハトーヴ協創コースでは、アントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成や地域コミュニティ再生など、地域のイノベーションに必要な創造性やチャレンジ精神を高めるための新たな科目を開設し、地域での多様な実践活動をシームレスに組み合わせた新たな人材育成プログラムを開発する予定で

す。また、学生間や地域関係者との恒常的な協働・対話の場として「イーハトーヴ協創ラボ」を学内に設置し、地域関係者を交えた学生へのサポート機能を強化します。そして、正課教育と地域での実践活動との有機的な連携と、経験や成果の専門分野等への効果的な還元を促進したいと考えています。

これらの取組を通じ、地域課題解決への意識と能力が高い人材を輩出し、地域の未来を牽引するイノベーション人材として活躍することにより、地域の高度化や持続可能な地域社会の実現に貢献していきたいと考えています。

今後の取り組みに是非注目していただくとともに、この取組に協力いただける方が益々増えていくことを期待しています。



地域協創教育室前に貼られたポスター。岩手大学が提供している学生支援のメニューが掲載されています

## 研究紹介

### 生殖学探求—命をつなぎ時空を超える生殖技術の開発—



理工学部 化学・生命理工学科 生命コース  
准教授 金子 武人

ヒトを含む哺乳類は、精子と卵子が受精することで親とは異なる細胞をつくり、やがて新しい生命が誕生することで命がつながっています。この現象はごく自然なことですが、現在ヒトでは子供ができない不妊症、野生動物では地球環境の変化により個体数が急速に減少し絶滅の危険にさらされ、命をつなぐことが難しい状況になっています。このような問題を解決する学問は「生殖学」と呼ばれており、私の研究室（動物生殖・発生学研究室 <http://web.cc.iwate-u.ac.jp/~takehito/>）では、新しい命が誕生するメカニズムの解明や人為的に子供を誕生させる生殖技術の開発を行っています。生殖技術には、人工授精や体外受精と

いった精子と卵子を受精させる技術や、精子・卵子を長期間保存する技術などが挙げられます。

#### 細胞をインスタントコーヒーのように保存する

私の研究室では、新しい生殖技術としてフリーズドライによる細胞の保存法を開発しています。フリーズドライ技術は、インスタントコーヒーや味噌汁などの食品の長期保存に汎用され、皆さんも1度は使ったことがあると思います。フリーズドライされた食品は、水を加えることで元の状態に戻すことができます。フリーズドライされた細胞も同じように長期保存が可能で、一時的に時間を止めることができます。フリーズドライした精子も、水を加え元に戻し体外受精により卵子と受精させることで新しい命を誕生させることができます。フリーズドライ精子はガラス瓶に封入されている（写真1）ため、震災や台風による大規模な災害が起きても「命の元」を安全に保存することができます。また、国際宇宙ステーションでの

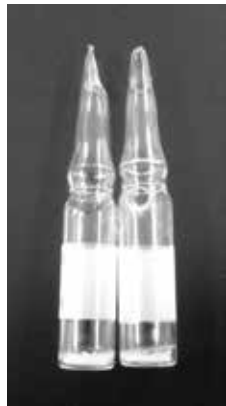


写真1

保存にも成功しており、地球以外の星でも時空を超えて保存ができる可能性が期待されています。

#### 絶滅危惧野生動物の人工繁殖への応用

生殖技術に関する多くの研究成果や技術は、ヒトの不妊症治療に応用され、すでに多くの新しい命が誕生しています。野生動物においては、現在約17,000種が絶滅の危険にさらされています。私の研究室では、これまで開発してきた生殖技術を用いて、ツシヤママネコやヤンバルクイナなどの絶滅危惧野生動物の人工繁殖プロジェクトを環境省や動物園・水族館と共同で行っています。現在、国内外に生息する約60種の野生動物の精子や卵子を保存（写真2）しており、人工授精や体外受精を用いて個体数を増やす人工繁殖に取り組んでいます。



写真2

#### さいごに

私が行っている生殖学研究は、まだまだ多くの課題が残されています。今後も研究を続け多くの発見をすることで、命をつなぎ時空を超える生殖学を探究していきたいと思っています。

## 研究紹介

### 医科学測定に基づいたオーダーメイド型のトレーニングとコーチング



教育学部 保健体育科  
講師 奥平 権道

こんにちは！ 岩手大学教育学部の奥平権道と申します。出身は岩手県栗石町です！ 実に10年ぶりに大学教員として地元岩手県に帰ってくることができました。

私は2012年に盛岡第一高等学校を卒業し、筑波大学体育専門学群に進学しました。大学院も含めると9年間、運動生理学やスポーツバイオメカニクスを中心とした、最先端のスポーツ科学の研究を行ってきました。2022年に筑波大学大学院を修了し、1年間、愛知県の中京大学スポーツ科学部において教員を務めました。2023年4月より現在の岩手大学教育学部に着任し、少しずつ研究室の環境を整えております。今回は私の研究活動につ

いて一部ご紹介させていただきます。

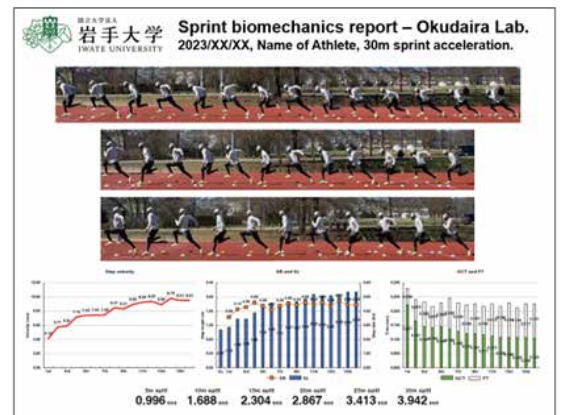
#### 運動神経の強さの測定

大きな筋力を発揮するためには、筋肉を大きくすることに加えて、その筋肉に指令を送る運動神経の指令の強さが必要です。私の研究室と中京大学の渡邊航平研究室との共同研究として、高密度表面筋電図という専用の測定機器を用い、皮膚表面から身体内部に存在する運動神経の活動を測定する研究活動を行っています。運動神経の活動の強さを測定することによって、「筋肉を効果的に使えているか」ということを評価することができます。これにより、子どもの発育発達過程の調査や、優れたアスリートに見られる特徴、様々なトレーニング手段の効果の違いなどについて研究を進めております。

#### 走りのバイオメカニクスと動作分析

速く走るためには筋力も重要ですが、正しいフォームで走ることも非常に重要です。私の研究室では、スプリント走（いわゆるダッシュ）に着目し、歩幅（ストライド）や回転数（ピッチ）の測定に加えて、膝や足首などの関節角度、体幹の前傾角度、重心の位置など詳細な動きの特徴を調査しています。陸上競技の選手のみならず、サッカーやラグビーなど球技種目の選手の走り方につ

いても研究成果を発表しており、目的に応じたトレーニング方法の提案などを行っています。



動作分析の例



測定結果に基づいた  
カウンセリング



測定結果に基づいたトレーニングの指導

# センパイ紹介

Alumni Interview

PROFILE

宮城県獣医師

さとう ひろのぶ  
佐藤 浩庸 さん

茨城県日立生まれ  
平成30年3月 農学部共同獣医学科課程卒業  
宮城県庁 家畜防疫対策室 衛生安全班  
技師



Q1 印象に残っている学生時代の思い出を教えてください。

旅行が好きで、国内外の色々な場所に行きました。特に、インドに単身ノープランで2週間滞在した思い出は今でも印象深いです。見知らぬ土地で、現地の方から得た情報を頼りにした行き当たりばったりの旅は、非日常にあふれ、とても楽しかったです。今なら躊躇してしまうかもしれませんが、大学時代の若さと、有り余る時間があってできた旅だったと思います。

Q2 現在の仕事を選んだきっかけは何ですか？

広く多くの人役に立つ公益性の高い仕事がしたいという思いがあったため、公務員を志望していました。また、アジア諸国の旅を通じ、日本の公衆・家畜衛生レベルの高さを知るとともに、それらを築き上げた公務員獣医師の魅力を感じていました。県職員は、家畜衛生・公衆衛生の両方に携わることができる唯一の職業であることから、今の職場を選びました。

Q3 仕事のやりがいや今後の目標を教えてください。

現在は、県庁で家畜伝染病予防に係る事務・家畜保健衛生所の調整等を行っています。近年流行している鳥インフルエンザや豚熱が発生した際には、迅速に防疫措置を完了させるため、農林水産省や県組織各所と調整し、現場に的確な指示を出すことに尽力しました。防疫措置は大変な作業ですが、県職員一丸となって迅速な防疫措置を完了した際には、公務員獣医師として全国的な伝染病のまん延防止に貢献できたという達成感がありました。

Q4 岩大生へメッセージをお願いします！

社会人になって仕事の方向性が決まると、その分野において否が応でも深い専門性を求められます。一方で、大学時代は、とにかく時間とエネルギーが沢山あり、方向性を模索するには最高の時期です。まずは広く浅くでいいので、とにかく色々なことにチャレンジしてみてください。それらの経験が、自分に合った仕事を見つけるのに役立つと思います。

# TOPICS トピックス

## 盛岡・つなぎ間ロードレース大会を4年ぶりに開催



2023年5月27日、新型コロナの影響で4年ぶりの開催となる第66回盛岡・つなぎ間ロードレース大会を開催しました。太田橋グラウンドからスタートし、御所湖畔沿いを通り抜け、ゴールのつなぎ温泉ホテル紫苑・駐車場までの約12kmのコースです。学生・教職員90人が参加し、全員無事に完走することができました。毎年、終了後に参加者は、温泉に浸かり疲れを癒してから帰宅します。今年も完走後、みんなで温泉を楽しみました。

## オンラインチャリティーイベント「Giving Campaign 2023」開催

2023年6月19日から6月25日に、オンラインで岩手大学の研究など各種プロジェクトへ応援を募るチャリティーイベント「Giving Campaign 2023」を開催しました。このイベントは、卒業生や保護者、地域の方々に応援投票や寄附を呼びかけるもので、期間中には全国各地から2264人の方々にご参加いただきました。応援や寄附をくださった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。次回は10月に開催を予定しています。



Giving Campaignの特設ページ

# Information

## 岩手大学公式ソーシャルメディアのご案内

岩手大学では本学に関する情報をソーシャルメディアで発信しています。ぜひチェックしてください。

岩手大学公式Twitter

@iwateu\_univ\_pr



小川学長Twitter

@iwateu\_gakucho



岩手大学公式  
YouTubeチャンネル



岩手大学のソーシャルメディア  
アカウント一覧



## 「岩手大学イーハトーヴ基金」のご案内

岩手大学では、教育研究の充実、学生に対する修学支援の一層の推進のため、2015年12月に「岩手大学イーハトーヴ基金」を創設しました。本基金は、用途を特定せずにご寄附頂く「一般基金」と、用途をあらかじめ特定したうえで、ご寄附頂く「特定基金」で構成されています。

この度、イーハトーヴ基金のTwitterを開設しました。本学のファンドレイジングに関する情報を中心に発信していきます。ぜひフォローをお願いします。

岩手大学への寄附に関するお問い合わせは岩手大学基金室まで、お気軽にお問い合わせください。

寄附の申込・払込方法はHPをご覧ください  
<https://www.iwate-u.ac.jp/ihatovkikin/>



イーハトーヴ基金  
Twitter  
@iwate\_u\_kikin



## 岩手大学教員によるミニ講義動画を公開中

高校生の学問との出会いをサポートする「夢ナビ」で、本学教員によるミニ講義の動画を公開しています。40人以上の先生たちによる動画を視聴して、自分の興味・関心につながる学問への可能性を広げてください。



## 卒業生の進路状況について

卒業生の就職率や就職先等の進路状況については、以下のページからご覧いただけます。



卒業生の進路状況についてはこちら↑

<https://www.iwate-u.ac.jp/career/achievement/index.html>

## 編集後記

岩手県出身の野球選手が国内外で大活躍ですね。コロナが明けて、イベントも復活し、岩手大学も負けずに活気がでてきました。今年度は、部活動、研究とコロナ前よりも活力がでてきそうな予感がします。暑い夏を乗り切り、学生・教職員が一丸となって岩手大学を盛り上げていきましょう。

## i-Connect通信欄

こんにちは！ 学内カンパニー i-Connectの菅野です。今年度入学し、i-Connectに入社しました。高校時代にも地元の高校生記者をしていたので、これからはいろいろなことにチャレンジしていきたいです。

さて、コロナウイルス感染症対策であるマスクの着用が個人の判断に委ねられるようになり、日常生活が戻ってきたように思っています。また、サークル活動等の制限がなくなり、各々の活動も活発に行われるようになりました。今年は第66回盛岡・つなぎ間ロードレース大会も開催され、参加者全員がゴールするなど、岩手大学全体に活気が戻ってきたのではないかと感じています。

これからもたくさんの方の行事が行われると思います。i-Connectで

は学内での取材に限らず、岩大生と地域の活動などの情報発信も行なっています。いろいろな人に伝えたい！という人はお気軽にi-Connectまで広報をご依頼ください。

● i-Connectは、岩手大学と地域、学生同士の橋渡しを担うことを目的として広報活動を行う学内カンパニーです。

## 問い合わせメールアドレス

[iconnect.gandai@gmail.com](mailto:iconnect.gandai@gmail.com)

Twitter

@iConnect\_gandai



Hi!こちら岩手大学 vol.52

2023年8月発行

岩手大学広報室

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

E-mail: [kkoho@iwate-u.ac.jp](mailto:kkoho@iwate-u.ac.jp)

<https://www.iwate-u.ac.jp/>

本誌へのご意見・ご感想をおまちしております。